

## 【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	清須市家庭教育支援チームMOMO (呼称:MOMO)
活動開始年度	平成20年度
活動拠点	清須市立桃栄小学校
活動範囲	新川中学校区、清須市内全域 等
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名 ) <input checked="" type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ( )
組織体制	<u>7</u> 人 子育てネットワーカー、民生児童委員、学校評議委員、 スポーツ推進委員、保育サポーター、母子保健推進員
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input checked="" type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他( )  <b>【活動内容:抜粋】</b> ・MOMOの部屋 保護者の相談をはじめ、休み時間に手作りおもちゃの作り方や伝承あそびを通して児童と交流をする。 ・ふれあいサロン PTA総会時、懇談会の期間中に、保護者との交流を図り託児を行う。 ・「親のまなび」家庭教育研修会 ワークショップを取り入れた家庭教育に関する研修会を行う。 ・中学生と赤ちゃんのふれあい交流会 「いのちの大切さ」について、中学生が赤ちゃんとその保護者とふれあい交流をする中で、体験を通して学ぶ機会を提供する。中学生、赤ちゃん、保護者がそれぞれの立場で気づく良い事業となっている。 ・親子わくわくワーク 子どもたちの健やかな成長のために、親子で一緒に学ぶ。ワークショップでは、同じ問題に取り組み、親と子のそれぞれの素直な意見が出される等、改めてお互いの気持ちを知る場となっている。

<b>活動の成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果などから、講座開催前と比較したところ、子どもの気持ちを受けとめるための言葉の大切さに気づかされたなど、子育て中の保護者に「学びの場」、「気づきの場」としての機会を与えることができた。</li> <li>・様々な年齢の方や同世代の方と意見交換や貴重な体験をすることで、不安などが解消され、子育てに前向きな気持ちになれたという意見などの成果があった。</li> </ul>
<b>活動において苦労した点や課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MOMOメンバーの高齢化や後継者の育成問題。</li> <li>・対象となる子どもたちが、習い事などで忙しい為、開催する日程調整が難しい。</li> </ul>
<b>今後の活動目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が子育てに悩みや不安を抱えている人が多い現在、地域の支えとしてMOMOの活動は重要である。</li> <li>・最近SNSでの情報があふれる中での子育てが増えている。若い世代に祖父母世代の子育て方法を伝えると共に、祖父母世代にも若い世代の育児方法を伝え、お互いに子育てを理解できるように三世代交流の場を企画する予定。</li> <li>・今後は学校や地域と連携しながら、保護者の抱える悩みや不安に対応した講座等の開催を企画・運営する。</li> </ul>
<b>問合せ先</b>	<p>(部署・氏名等)清須市教育部教育委員会生涯学習課生涯学習係  (TEL) 052-400-2911 (E-mail) shogaigakushu@city.kiyosu.lg.jp</p>